

公益財団法人第五福竜丸平和協会

令和 6(2024)年度事業報告

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

令和 6 (2024) 年度は、新型コロナウイルス感染拡大が危惧された 2020 年～2023 年に比べ、社会活動は徐々に平常時にもどり、来館者、学校見学が順次回復していった。年間来館者は、123,168 人（前年度 97,035 人）となり、コロナ感染拡大前の水準となった。2025 年 3 月 4 日に開館以来の通算来館者が 600 万人となった。

ビキニ水爆被災から 70 年目の節目の年でもあり、メディアの取材や各地での講演依頼、展示パネルの貸し出しなどを活発に行った。日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞に関連した報道も多く、これを機に展示館の存在を知る人も多く見受けられた。

来館者の動静では昨年度同様海外からの観光客の増加で、数名ずつではあるがほぼ毎日来館した。海外からの学校見学や留学生の見学を企画する大学教員とのつながりが進んだ。また昨年に続き外務省の案内で国連軍縮フェローシップ・プログラムの参加外交官が来館した。公園や競技場利用者も多く、デイサービスを利用する高齢者グループの来館も複数あった。

「ビキニ 70 年」にあたり、遠洋漁業の船員に焦点を当てた企画展「第五福竜丸の時代と漁師たち」、広島・長崎の原爆被害やマーシャル諸島の核被害も視野に入れたアート展「山内若菜展『ふたつの太陽』」を開催した。「3・1 ビキニ記念のつどい」は、「核の時代の現在と未来」と題し、ビキニ事件に端を発した「ラッセル＝アインシュタイン宣言」70 年を意識した講演内容で開催し、好評を博した（明治学院大学国際平和研究所共催）。

また、第五福竜丸建造から 77 年、展示館開館から 48 年を経て、第五福竜丸船体の維持・管理が課題となっている。2023 年 4 月より、館内及び船室内の温湿度の記録と、木栓や木片など船体からの落下物について、東京都に対し定期報告を行っており、担当部署との意見交換、専門家による検討を行った。展示館施設、船体、エンジンの保存など継続的検討が求められる。館内空調不調のため猛暑期間には館内温度が上昇し、扇風機などで対応した。逆に冬季には館内が非常に寒く、来館者には不便をかけた。

昨年度につづき学芸員資格取得のための博物館実習を受け入れ、2 名の大学生が実習を行った。

1. 公益法人のかなめの事業

① 展示館業務

- ・ 当年度、展示館管理は定められた休館日を除き、307 日間実施した。
- ・ 来館者総数は 123,168 人（前年度 97,035 人）、団体見学数は 636 団体（うち、小学校 49 団体 1,963 人、中学校 140 団体 5,305 人、高校 42 団体 1,267 人、大学 81 団体 563 人、その他の青少年団体 36 団体 975 人、一般団体 288 団体 5,188 人）、一般来館者は 107,907 人であった。
- ・ 学校団体への展示解説は、混雑時には屋外で実施し、小グループに分け時間差をつけ入館するなど、混雑への配慮を行った。また、児童、生徒、学生らに対して、理解を促進するためのサポート

を行った。

- ・ 学生のレポート課題、卒業論文、自由研究への助言のほか、研究者へのレファレンス対応などをおこなった。
- ・ カラー版「展示館のしおり」を広報宣伝に活用した。学芸員の講演会場、パネル貸出会場での配布などにも活用した。歴史教育者の集会では展示館と貸出資料などを紹介したリーフレットを配布した。
- ・ 第五福竜丸展示館、第五福竜丸平和協会の取り組みを広報する「福竜丸だより」を計6回発した。
(各1000部、賛助・ニュース購読会員、協力者・協力団体等に郵送。館内外での配布)
- ・ 7月には2023年度の年次報告書を発行し配布した。

② 企画展・展示替等の取り組み

第五福竜丸・ビキニ水爆実験被災70年記念企画として、公募展「みんなの船 第五福竜丸」(5月10日～7月10日)を開催した。全国の小中学生から50点余の絵が集まり、画家、アーティスト、デザイナー5人による講評とともに船体右舷に展示した。

第1回展示替え(7月10日～9月29日)

企画展「第五福竜丸の時代と漁師たち」

焼津市歴史民俗資料館との共同企画で、収蔵資料を中心に第五福竜丸乗組員たちの日用品や日誌等を展示した。テーマごとに8つの「モノ語り」テキスト(日・英)を置き、資料をじっくり観察する趣向とした。

久保山愛吉氏から家族へ送られた手紙は焼津市より、マグロ漁師が着用していた「焼津縞のシャツ」を焼津漁業資料館よりお借りした。またビキニ事件当時のタバコの外箱を「たばこと塩の博物館」から提供を受けた。日本ドキュメントフィルム社と映像作家・大津伴絵氏の協力を得て、記録映画「荒海に生きる」(亀井文夫監督)より、マグロはえ縄漁の場面を常時上映した。

関連企画として映画『第五福竜丸』(新藤兼人監督)の特別上映会を開催した。

第2回展示替え(2024年10月9日～2025年1月19日)

「山内若菜展 ふたつの太陽～命を紡ぐちいさな生きものたち」

第五福竜丸を題材にした「神々の船」、山内若菜の代表作でもある広島・長崎・福島をテーマとする三部作「天空 昇(のぼる)」、「刻(とき)の川 揺(ゆれる)」、「牧場 放(はなつ)」をはじめ、船体と抱擁するように飾られた企画展の標題作「ふたつの太陽」、マーシャル諸島の核被害や高知県の被災漁船を和紙や金屏風、切り株など大小さまざまな素材に描き、100点余りが展示された。

会期中には作家によるギャラリー・トークが何度も行われ、参加者が絵を描くワークショップも開催された。メディアの注目を集め全国各地から連日、来館者が多数訪れた。

なお、被災漁船が描かれた金屏風は、2025年3月3日～7日、核兵器禁止条約第三回締約国会議が開かれたニューヨークの国連本部内でも展示され、注目を集めた。

3・1 ビキニ記念のつどい(2025 年月 2 日 24 日)

夢の島マリーナ・マリンセンター（東京・江東区）で「3・1 ビキニ記念のつどい」を開催した（共催・明治学院大学国際平和研究所）。鈴木達治郎さん（長崎大学核兵器廃絶研究センター教授）による記念講演「核の脅威の現在と未来」に、約 80 人が参加。

冒頭で SNS 発信「第五福竜丸航海記」が完結した報告と、＜投稿＞をまとめた短編動画を上映し、担当した柳川悠月さんが挨拶をした。

③ 第五福竜丸・ビキニ事件、世界の核被害を伝える取り組み

現物資料・展示用パネル、映画「西から昇った太陽」の貸し出しと普及に取り組んだ。学芸員が非常勤講師を勤める大学（中央大学、立教大学）での講義のほか、ゲストスピーカーとしての講義、市民団体主催の学習会での講演等で第五福竜丸、ビキニ事件について伝える機会をもった。

【資料貸出・パネル展等】

4 月 12 日～4 月 28 日	三浦市民集会
7 月 8 日～7 月 12 日	原水爆禁止芦屋協議会 原爆展
7 月 23 日～7 月 28 日	西上総平和のための戦争展
7 月 25 日～7 月 30 日	西宮市 令和 6 年度原爆展
7 月 30 日～8 月 4 日	大宮原爆と人間展
8 月 3 日～8 月 4 日	浜松戦争体験を聞く会
8 月 5 日～8 月 9 日	鹿児島県曾於市「原爆展」
8 月 6 日～8 月 11 日	串本町 ビキニ被爆 70 年平和の歴史展
8 月 14 日～9 月 1 日	令和 6 年度杉戸町平和企画展「富岡への想い～あの日から未来に向かって～」
8 月 10 日～8 月 15 日	第 36 回平和のための富士市戦争展
7 月 29 日～8 月 9 日	杉並区平和展
10 月 18 日～10 月 20 日	21 回伊丹平和のための戦争展
11 月 21 日～11 月 24 日	三重県生協連 三重県国連原爆展
1 月 25 日～4 月 30 日	島根大学
2 月 26 日～3 月 3 日	帯広原水協
3 月 6 日～3 月 11 日	平和のための戦争展・のだ
3 月 1 日～3 月 9 日	被団協大分

【調査研究活動】

企画展「第五福竜丸の時代と漁師たち」のリサーチで、4 月 7 日、市田・蓮沼学芸員が焼津市歴史民俗資料館、焼津漁業資料館で資料調査をおこなった。

【教育普及活動】

<主な講演・講話>

3月1日～3月9日	被団協大分
5月8日	鹿児島大学自治会平和講演会
5月13日	焼津市歴史民俗資料館主催 映画「第五福竜丸」上映会
5月16日,23日	明治学院大学「広島・長崎講座」
5月25日	おりづるの子（東京被爆二世の会）総会
5月31日	早稲田大学文化構想学部「社会構築論系総合演習」
5月31日	東京アートポイント計画ジムジム会
6月2日	自治労現業評議会
6月8日	自治労東京本部「平和学習会」
6月21日	山形県田川地区平和センター平和講演
7月1日	杉並区「広島平和学習中学生派遣事業」事前学習会
7月7日	全労連「原水爆禁止世界大会」プレ企画
7月8日	神奈川県平和運動センター・小田原原水禁集会
7月13日	生協ひろしま「平和の活動交流会」
7月14日	第35回愛知県私学サマーセミナー2024
7月15日	横須賀原水協「観音崎平和のつどい」
7月19日	東京原水協
7月20日	被爆79周年原水爆禁止山形県平和大会
7月23日	東京交通労働組合平和学習会
7月27日	千葉県香取市九条の会
7月30日	大宮市「原爆と人間展」
8月2日	東京土建「原水爆禁止世界大会」代表団結団式
8月2日	津市「国連原爆展」
8月3日	コープみえ・ゴーリキマリンビレッジ主催「牛乳パックでつくる第五福竜丸」
8月4日	浜松戦争体験を聞く会 映画「第五福竜丸」上映会
8月5日	歴史教育者協議会大会
8月11日	和歌山県・串本町「平和展」
8月12日	2024 ノーニュークスフェスティバル in 板橋「原爆パネル展と第五福竜丸講演のつどい」
9月1日	さいたま・常泉寺に「広島・長崎の火」を囲むつどい
9月21日	葛飾革新懇総会記念講演会
9月21日	「被爆者の声を受けつぐ映画祭」
9月26日	都立足立西高校
9月28日	東京交通労働組合有明支部学習会
9月28日	日本母親大会
9月29日	杉並ユネスコ協会ユネスコのつどい
10月10日	東京土建主婦の会
10月12日	パルシステム東京「SILENT FALLOUT」上映会
10月13日	市民の平和展磐田「ビキニ被災70年講演会」
10月27日	取手母親大会

11月5日	神奈川学園
11月9日	「くじらのこえ なみのこえ」(三重県) 上演会
11月19日	愛知県私学教育研修会
11月22日	三輪田学園
11月29日	青山学院大学スクーンメーカージェンダー研究センター「いのち・女性・社会」
12月21日	愛知世界史教育研究会
1月17日	板橋区職労「平和のつとめ」
1月22日	核廃絶ネットみやぎ
1月23日	大田区・貝塚中学校
1月25日	島根大学法文学部「平和と人権を考える教育—小泉八雲と第五福竜丸」プロジェクト
2月2日	東京教研集会音楽部会
2月6日	世田谷区立平和資料館職員研修
2月14日	埼玉県原水協学習会
2月15日	杉並区女性団体連絡会平和上映会
2月20日	横浜市立鶴見中学校
2月21日	ソーシャル・ブックカフェ ハチドリ舎トークイベント
2月22日	広島県原水協「3・1ビキニデー広島集会」
2月22日	川崎市宮前区原水協
3月8日	カワセミ・ピプレット「カワセミ大学」
3月17日	横浜市立軽井沢中学校
3月20日	憲法寄席 2025 春公演
3月23日	埼玉九条の会「被爆者肥田舜太郎医師から学ぶ」

<執筆>

- ・ 奥山修平「ビキニ事件とラッセル＝アインシュタイン宣言」(「法と民主主義」No. 591)
- ・ 安田和也「第五福竜丸は航海をつづける」(「法と民主主義」No. 591)
- ・ 安田和也「ビキニ事件 70 年 広島・長崎に続く核被害・・・核なき世界へと第五福竜丸は航海中です」(『労農のなかま』2025 年 1 月号)
- ・ 市田真理「核実験による日本漁船の被災」(「法と民主主義」No. 591)
- ・ 市田真理「ビキニ事件の『当事者』は誰か 分断を乗り越える大石又七の思想を通して」(中原聖乃・三田貴・黒崎岳大編『核問題の「当事者性」時間と場所を超えた問いかけ』、2024, 泉町書房)
- ・ 市田真理 研究ノート『「ビキニ事件」70 年におけるメディア動向』立教大学社会学部紀要『応用社会学研究』
- ・ 市田真理 カトリック正義と平和協議会「JP通信」連載
- ・ 市田真理 寄稿「未来を変える『航海』はつづく」中国新聞「今を読む」2024 年 6 月 15 日
- ・ 蓮沼佑助「第五福竜丸の航跡を追う」(『人権と部落問題』2024 年 8 月号)

<オンラインによる発信>

ビキニ水爆実験被災 70 年に際し、70 年前のできごとを一次資料や関係者の手記等に基づいて「第五福竜丸航海記」と題して、SNS で発信した(2024 年 1 月 8 日～2025 年 2 月 24 日)

④船体・エンジン等の保存のための検討作業

<東京都との協議>

- ・ 2024年5月23日に約30cmの部材が第五福竜丸船底部から破損し落下、同様に5月29日にはエンジンから重さ約3kgの破片が剥落した。これを受けて、第五福竜丸平和協会では東京都に対し船体及びエンジンの現状把握と将来的な補修のための検討の要請を行った。
- ・ 7月18日には第五福竜丸展示館にて、東京都建設局東部公園緑地事務所担当者と平和協会役員・船体等保存検討委員による懇談の場が持たれた。
- ・ 2025年2月20日には東京都と外部の助言者による船体とエンジンの視察が行われた。
- ・ 9月7日には博物館実習の学生やボランティアの協力を得て、エンジンの清掃及びタンニン酸の塗布を行った。
- ・ 9月28日には生活協同組合パルシステムのご協力の下、第五福竜丸船体（甲板上及び船内）の清掃を行った。
- ・ 12月12日には第8回第五福竜丸船体等保存検討委員会を開催、船体及びエンジンの現況観察と保存方針についての意見交換を行った。

⑤ その他

【特記事項】

4月20日	核兵器をなくす日本キャンペーン発足シンポジウムに蓮沼佑助事務局次長参加
4月23日	石川県珠洲市の中学校が修学旅行で来館。1月の大地震で学校が避難所になっていることなどをきく
4月25日	公募展「みんなの船 第五福竜丸」の絵の選考に、画家の男鹿和雄さん、作家の瀬尾夏美さんが訪れ、50展余りの応募作品を観る
4月26日	映画『第五福竜丸』のブルーレイが納品され、予約者へ発送。
4月27日	2月～3月にマーシャル諸島共和国を訪問した大学生たちの報告会。オンライン併用で5大学15人が参加
5月6日	国民平和大行進出発式、展示館前ひろば。奥山修平代表理事挨拶
5月11日	映画「第五福竜丸」第五福竜丸展示館特別上映会に25人参加
5月19日	NHK高知局の番組「とさ金」に市田真理学芸員スタジオ出演（5月24日放送）
5月26日	日本科学者会議東京支部、国際自由宗教女性連盟など団体見学がつづく
5月31日	東京アートポイント計画に参加する諸団体の学習会で蓮沼佑助学芸員が解説
6月8日	映画「シン・仮面ライダー」ブルーレイ特典映像の撮影が展示館前で行われる。庵野秀明監督、榎本佑ほか
6月15日	新日本スポーツ連盟東京都連盟主催「反核平和マラソン」スタート集会で市田事務局長挨拶
6月16日	山本義彦顧問、焼津市歴史民俗資料館で講演。千葉・我孫子市平和事業推進市民会議のメンバーと市職員が来館
6月29日	ゲーム「ポケモンGO」利用者100人以上が展示館内外に

7月6日	長崎に派遣される東京都港区平和青年団の高校生 17 名が研修で訪れ、言葉のワークショップを行う
7月11日	NHK クローズアップ現代、桑子真帆キャスター見学・撮影
7月13日	日本山妙法寺平和行脚見学会
7月21日	東京都原爆犠牲者追悼のつどいで市田真理事務局長が都民代表挨拶
8月1日	静岡県高校生平和大使来館。イタリア、ファルコネ高校から 20 名が来館
8月4日	N00K・アーツカウンスル東京の企画「記録から表現をつくる」ワークショップ開催市田・蓮沼学芸員がレクチャーを行い 13 名の参加者が作品発表
8月6日	歴史教育者協議会見学会
8月22日	小山教育財団の見学会で日本とドイツの高校生 24 人が来館
9月3日	東莉子さん（広島市立大学）博物館実習スタート
9月7日	エンジンのさび止め塗布作業に、展示館サポーターズのメンバー参加
9月8日	明治学院大学広島長崎講座受講生と横須賀学園高校有志の見学会
9月11日	富山明莉さん（立教大学）博物館実習スタート
9月12日	エニウェトク環礁で除染作業に従事した Allan White 氏来館
9月23日	無船長・久保山愛吉さんの命日。第 44 回久保山忌句会で奥山修平代表理事挨拶。句会や東京原水協のメンバーが久保山愛吉記念碑に献花。築地にマグロ塚を作る会、夢の島マリナで学習会。第五福竜丸平和協会主催記念コンサート「希望の風」にたくさんの人が集まる。映画「第五福竜丸」特別上映会に 55 人参加、上映に先立ち近代映画協会・新藤次郎代表が挨拶
10月1日	東京科学大学（旧・東京工業大学）のプロジェクトでノルウェー、モンゴル、韓国などからの留学生来館
10月10日	山内若菜「ふたつの太陽」展スタート
10月12日	日本被団協のノーベル平和賞受賞の報を受け新聞・テレビからの取材が相つづ
10月14日	アーティストの Ari Beser さん（原爆投下機「エノラ・ゲイ」「ボックス・カー」に搭乗した米軍人 Jacob Beser 氏の孫）が高原孝生理事の案内で来館
10月19日	仲野麻紀・渋谷毅「第五福竜丸・ビキニ 70 年スペシャルコンサート」たくさんのボランティアスタッフに支えられ大成功。100 人参加
10月29日	国連軍縮フェローシップに参加の外交官 28 人が来館
10月30日	長崎市平和推進課より展示館視察
10月31日	IPB（国際平和ビューロー）の法律家 Amela Skiljan さん来館
11月9日	三重県生協連主催「くじらのこえ なみのこえ」上演。安田専務理事挨拶
11月16日	日本反核法律家協会 30 周年シンポジウムで市田事務局長が発言
11月23日	マーシャル諸島よりアイルック環礁出身の Arina さんと Randy さん来館
11月26日	インディア・インターナショナルスクール（東京・江東区）の遠足で 70 名来館
11月30日	平和博物館市民ネット全国交流会で安田専務理事が報告。高知市内で上演された演劇「ビキニの海からの証」（劇団 The・創）で市田学芸員舞台挨拶。TBS ラジオ「人権トゥデイ」で山内若菜さんギャラリー・トークなどが紹介される

12月6日	東京農業大学の留学生が来館
12月11日	日本被団協ノーベル平和賞授賞式をうけてNHKニュースウォッチ9取材
12月14日	公害資料館連携フォーラムのエクスカージョンで全国の資料館から関係者が来館
12月17日	高校生一万人署名実行委員会メンバーが東京、神奈川、長崎など各地から40名来館
1月4日	俳優・吉永小百合さん「山内若菜展」に来館
1月25日	東京科学大学の留学生が来館
1月26日	東京の被爆者団体・東友会の「新春のつどい」に安田専務理事、蓮沼事務局次長参加
2月1日	制作が進む映画“Tickling Dragon Tail”のプロデューサーLarry Tish氏来館
2月4日	駐日ノルウェー大使館主催「日本被団協ノーベル平和賞受賞祝賀会」に安田、市田、蓮沼が参加。日本被団協とつながりのある団体・関係者とともにお祝いする
2月8日-9日	「核兵器なくす国際市民フォーラム」に蓮沼学芸員が参加
2月14日	マオヒヌイ（フランス領ポリネシア）国会議員 Ninamoeura Morgant-Cross さん、竹峰誠一郎明星大学教授の随伴で来館
2月15日	NHK ETV 特集「救うことで救われるー日本被団協 原爆被害者の闘い」に山村茂雄顧問出演
2月28日	日本生活協同組合連合会ピースアクションキックオフ集会に蓮沼学芸員参加
3月1日	山本義彦顧問「久保山愛吉墓前祭」（焼津市・弘徳院）で挨拶
3月4日	通算来館者600万人に江東区第五砂町小学校6年生。東京新聞、中国新聞が取材
3月11日	量子科学技術研究開発機構より資料寄贈を受ける

【取材協力・資料提供】

- ・ 株式会社みくに出版『2025 年度受験用中学入学試験問題集 社会編』
- ・ 高文研『「近現代史」を子どもにどう教えるか』（平井美津子・山元研二）
- ・ 足立誠
- ・ 広島市立大学広島平和研究所『ヒロシマ調査・研究入門-原爆被害を調べる人のためのガイドブック』
- ・ 東京法令出版 高等学校教材『Winning COM. -PASS 世界史近現代編』
- ・ 読売 KODOMO 新聞 被団協ノーベル賞受賞に関連して
- ・ 東京書籍株式会社 「令和7年度 新編新しい道徳」に掲載された著作物を学習者用デジタル教科書のために二次使用
- ・ 滋賀県人権センター 「じんけんホッとメール」記事
- ・ わかやま市民生協「セプテ」vol.162 2025年1月号
- ・ 大阪いずみ市民生協組合員ニュース
- ・ 開発教育協会「DEAR News」220号（2025年2月号）
- ・ 『AERA』（2025年3月3日）
- ・ 『週刊女性』（2025年3月25・4月1日号）
- ・ NHK「おはよう日本」（6月21日放送）
- ・ NHK クローズアップ現代（7月11日放送）
- ・ NHK スペシャル「封じられた『第四の被ばく』～なぜ夫は死んだのか」（9月15日放送）

- ・ NHK ニュースウォッチ9（12月11日放送）
NHK 静岡放送局「なぜ語らなかったのか 第五福竜丸の裏側で（1月31日放送）」
- ・ THE ECONOMIST “What a 70-year-old firebreathing lizard reveals about humanity -Each incarnation of Godzilla reflects the fears of its time”（2024年12月19日配信）

【おもな報道】

4月1日 毎日新聞、「ビキニ事件」を考える 被ばく70年のつどい 山極壽一さんが講演
 5月30日 読売新聞、福竜丸の記憶 描き守る 被曝70年小中生、江東で展示
 6月15日 中国新聞、米水爆実験70年 未来を変える「航海」は続く
 7月24日 八重山毎日新聞（時事配信）、第五福竜丸被ばく70年 核兵器なくす方法考えて
 8月10日 宮古毎日新聞（時事配信）、第五福竜丸被ばく70年 核兵器なくす方法考えて
 9月20日 毎日新聞、被ばく70年ブルーレイ復刻 新藤兼人監督「第五福竜丸」
 10月2日 神奈川新聞、藤沢の画家山内若菜さん「ビキニ事件」水爆描く
 11月1日 東京新聞、第五福竜丸 希望の光掲げて ビキニ事件70年核なき未来へ進む大作
 11月6日 毎日新聞、「被団協」平和賞の意義
 11月9日 朝日新聞、読売新聞、共同通信、NHK、筒井久吉さん訃報
 11月27日 中国新聞、谷川俊太郎さん 原水禁運動激励
 1月16日 読売新聞、追悼抄 筒井久吉さん「被曝語らず海と生きた」
 3月1日 毎日新聞、「死の灰」浴びた漁船たち 金屏風に刻む声なき声

【ボランティアの会】

5月2日、7月3日、9月3日、11月6日、1月7日、3月7日「福竜丸だより」発送作業
 3月7日 総会・学習会

【行政庁との連絡等】

委託業務定期報告 東京都建設局東部公園緑地事務所管理課
 夢の島協議会 毎月開催
 新木場連絡会（夢の島公園施設と新木場地域企業との情報交換）隔月開催

2. その他の事業

① 書籍・ミュージアムグッズの頒布

② 出版事業

映画「第五福竜丸」（新藤兼人監督）ブルーレイを復刻制作した

3. 法人の管理運営

当年度に以下の通り諸会議を開催した。

2024年4月28日	理事会 対面（展示館資料室）・オンライン併用
2024年5月18日	定時評議員会 評議員会（学士会館）・オンライン併用
2025年3月22日	理事会（展示館資料室）

◇賛助会員は以下のとおりである

	2024年4月1日	2025年3月31日
賛助会員（個人）	262	267
賛助会員（団体）	53	52
ニュース購読会員	98	104

- * 新規賛助会員 15人（退会者10人）
新規賛助団体 0団体（退会1団体）
新規ニュース購読会員 12人（退会者6人）

◇役員の構成は以下のとおりである

理事 奥山修平（代表理事）、川口重雄、坂野直子、高原孝生、西原美香子、安田和也（専務理事）
監事 浦野広明、澤藤統一郎
評議員 岸田正博、高部優子、寺嶋陸也、中尾麻伊香、長田三紀、村上次郎、山田玲子、若林克俊

◇事務局体制は以下の通りである

事務局長 市田真理、事務局次長 蓮沼佑助、囑託（庶務） 荒木摩耶